

2 問題点(課題点)

工事着手前・施工中

- ①市発注横断水路改修工事2ヶ所で、国道を3回にわたり拡幅し車線変更するため、2カ月間工事が中断することが判明し、施工範囲・時期等の調整が必要。
- ②情報BOX 設計施工のため管材・計画を承認して頂くまでに時間が掛かり、管材については発注してからの製造で納入に2カ月かかると言われ事前測定の正確さが必要。

事前測定・調査

- ①地下水位が高く、施工箇所際には農作物を作っているため水替え(ウェルポイント)時には水位の管理が必要。
- ②L型擁壁 床掘内に既設水道管(φ100)が縦断的に有り、日々の施工量が限られる。また水道管の弁筐が15箇所調整が必要のため、市役所水道課と協議が必要。

現場管理

- ①150号拡幅工事は、道を隔てて左右に工区が分かれているため、道路幅員管理をするには業者間で、基準点・水準点の協議が必要。

3 対応策と適応結果

工事着手前・施工中

- ①市の請負業者に一次施工から三次施工までの施工期間を打合せして、道路外側の構造物を完了させてから引渡しに決まる。月に2回の連絡協議会を設け、全体工事の工程を組換えながら二ヶ月間が一ヶ月の中断で収まり工事を進捗させることができた。



二次施工時



三次施工時

また、切替道路がL型擁壁近くまでくる箇所があるため、地盤支持力を現地で把握できるキャスボルにて測定したため、次の工程に早く進めることができ工期短縮にもつながった。



簡易支持力試験(キャスボル)

②計画にあたっては、道路を横断している埋設物(構造物・水道管等)を何ヶ所も試掘して調べ情報BOXの仕様書に基づき計画した。初めての計画だったので専門業者に聞くなどして細かい部材までひろう事ができ、管材については、何種類かの管材を提案して納期が早くできるものに決定した。計画・管材決定まで時間は掛かったが、現場では部材の不足もなし予定期間内に施工出来た。



ハンドホール設置



管布設



防護板設置



さや管引込み

事前測量・調査

①事前に農作物の収穫時期を確認して、計画水位を設定し施工時期とかさなる箇所については毎日水位の確認をして、計画水位を下回る場合はポンプを停止したりして農作物に支障が出ないように施工出来た。



ウェルポイント設置



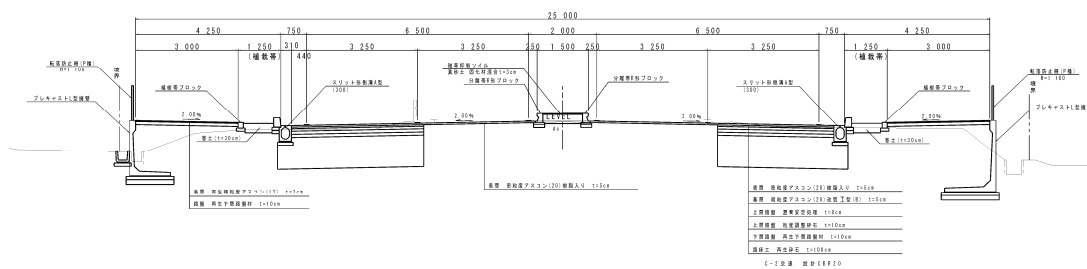
水位確認

②水道管理者と協議して、一日の施工延長を12メートルと決め水道管がむき出しになる箇所についても矢板で管が下がらないよう吊り、埋戻し時には水道管の標線を確認しながら水平になるよう水締めしながら埋め戻したので、水道管に支障あたえず施工出来た。



現場管理

- ①基準点・水準点は業者間で同じ個所を使用して、道路幅員の確認には反対側の工区と丁張を掛けた時点で全測点、直接距離を飛ばし確認してから施工に入ったので、幅員・基準高は満足できるできた。



4 終わりに

工事を振り返ってみると、工程・安全・品質は良好な現場にすることが出来た。工程に関しては、雨天で工事休工になった日があったにも関わらず、工程どおり進捗したことはうまく立ち回れたと思います。また、監督員の対応も早く、週に何回も現場に足を運んでくれたお陰で手待ち状態なることもなく工事完了ができ大変有り難うございました。今後の工事は、工期内検査を念頭において工事をしたいと思います。



着手前



完成